

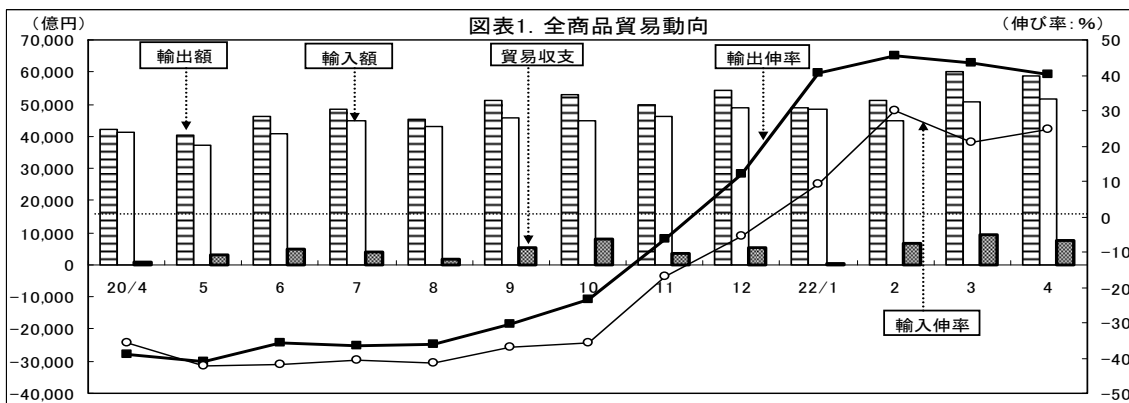
## 最近の機械貿易動向(平成22年4月)について

2010. 6. 8. 日本機械輸出組合

平成22年4月の機械輸出額は、3兆8,319億円、対前年同月比45.8%増と伸び率はやや鈍化した。これは中国、NIEs/ASEAN 向けが引き続き高い伸びを維持したが、EU が伸び率を鈍化させたことによる。業種では、全体の1/3を占める自動車が約80%増と高水準が続く、繊維機械、建設機械、工作機械等が好調であったことによる。5月の機械輸出額は、昨年5月が44.1%減で大きく落ち込んでいるが、4月の実質の伸びが49.8%増とやや鈍化したことから高い水準は維持するものの、欧州向けを中心にさらに鈍化するものと予想される。なお、5月上旬の全商品輸出額は25.5%増となっている。

### 1. 全商品貿易動向～輸出は40.3%増と高水準ながら頭打ち～

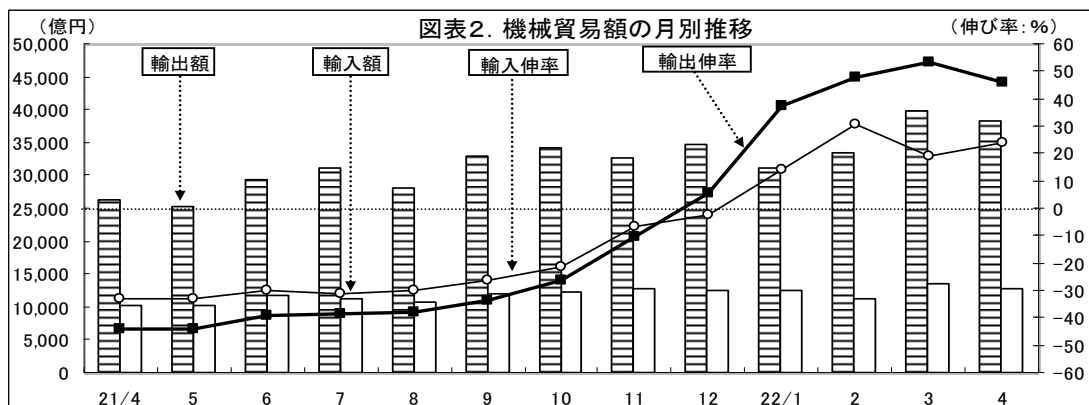
- 平成22年4月の全商品輸出額は**5兆8,879億円**、前年同月比(以下同じ)**40.3%増**と高水準ながら2月をピークにやや減少している。商品別では、全輸出額の23%を占める輸送用機器が65.4%と高い伸びを維持したほか、20%の一般機械(50.4%増)、13%の原料別製品(40.7%増)も高い伸びとなった。
- 輸入額は**5兆1,474億円**、**24.7%増**と高水準を維持した。これは、全輸入額の30%を占める鉱物性燃料(41%増)、7%の非鉄金属鉱等の原料品(37.2%増)、9%の鉄・非鉄金属等原料別製品(36.9%増)が高い伸びとなったためである。
- この結果、4月の貿易収支は、輸出の伸び率が輸入を大幅に上回ったため、前年比11倍の7,405億円の大幅な黒字となった。



### 2. 機械貿易動向

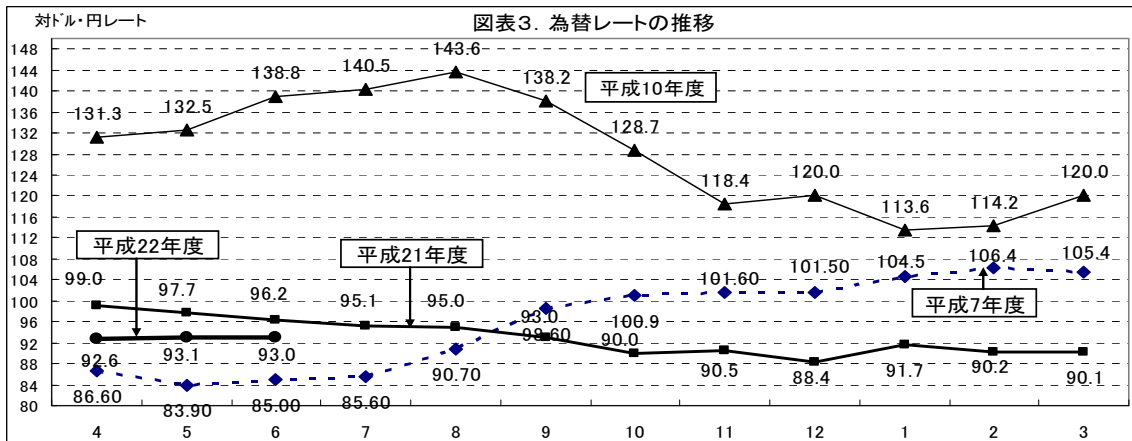
#### (1) 機械輸出入動向～機械輸出45.8%増とやや伸び率は鈍化～

- 全商品輸出額の65%を占める4月の機械輸出額は**3兆8,319億円**、**45.8%増**と前月よりやや鈍化した(3月53.1%増)。この輸出額は、一昨年4月の輸出額に比べると82%の水準である(3月は76%)。
- 一方、全商品輸入額の25%を占める機械輸入額は、**1兆2,633億円**、**23.6%増**と高い伸びを維持した(3月19.1%増)。輸入額は、一昨年に比べ83%の水準である。



**(2) 為替動向・営業日～為替は4月は4%の減少要因、5月は3%の減少要因～**

- ・平成22年4月は1ドル=92.6円と円高はやや緩んだが、前年がさらに円安になったため前年比**6.8%の円高**となった。対ユーロでは**5%の円高**となった。この結果、円建輸出額では**4%の減少要因**となった。営業日は、前年と同じである。4月の機械輸出伸び率は**45.8%増**であったが、実質は**49.8%増**と3月よりやや低下した(3月は実質51%増)。これは昨年4月の機械輸出額が44.1%減と減少幅がやや縮まったことも影響している。
- ・5月は1ドル=93.1円と円高はやや緩んだが、前年が円高に推移したため前年比**4.7%の円高**となった。対ユーロではユーロ安から**7%の円高**となった。この結果、円建輸出額では**3%の減少要因**となる。営業日は、前年と同じである。**6月**は、対ドルが現状の93円とすれば**3.3%の円高**、対ユーロではユーロ安が進んでおり、現状の109円とすれば**18.8%の円高**となり、為替は円建輸出額額の**3.5%の減少要因**となる。営業日は同じである。



**(3) 地域別動向～中国、NIES/ASEANが高水準維持、先進国向け32%、新興国向け68%～**

・4月も全地域で二桁の増加となり、①最も大きな伸びとなったのが機械輸出額18%を占める**中国向け**と30%と最大市場の**NIEs/ASEAN向け**でともに**55.8%増**となった。中国向けは、光学機械、建設機械、工作機械、陸用内燃機関、繊維機械が約2倍となり、産業機械が1.8倍、自動車が1.7倍となった。NIES/ASEAN向けは、産業機械、自動車、電子計測器が2倍以上、仕向け国では、インドネシア向けが2.4倍、台湾、タイ、フィリピン、韓国向けは50%増以上となった。②20%の**その他地域向け**も、大洋州、ロシア・東欧、中南米向けが約50%増以上で、**52.7%増**と高水準を維持した。③19%の**北米向け**は輸出額の半分を占める自動車・同部品が70%増と高水準を維持したが、電子計算機、通信機械、発電機等がマイナスとなり、**37.2%増**となった。④13%の**欧州向け**は自動車・同部品が47.3%増、建設機械が2.6倍となったが、民生用電子部品、船舶、エアコン等がマイナスとなり、**19.5%増**と伸び率が大きく鈍化した。

なお、各地域向け輸出額を世界金融危機以前の平成20年4月と比較すると中国向けが一昨年水準を超えており、NIES/ASEAN向けも92%の水準となったが、EU向けはまだ61%、北米、その他地域向けは約75%の水準である。

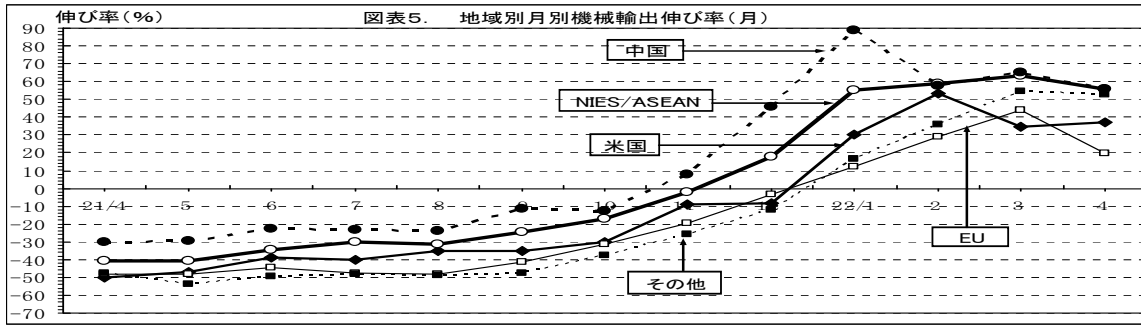
また、北米、EUの先進国向け輸出額が全体の32%であるのに対し、アジア等新興国向けが68%を占めた。3月より中国向けが米国を大きく上回り、最大の機械輸出国となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位:億円)

	2010/2			2010/3			2010/4			対08年4月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	33,369	47.9	100	39,816	53.1	100	38,319	45.8	100	0.82
北米	7,013	53.5	21.0	7,246	34.3	18.2	7,380	37.2	19.3	0.75
EU	4,258	28.9	12.8	4,779	43.7	12.0	4,825	19.5	12.6	0.61
NIES/ASEAN	9,608	59.1	28.8	11,707	63.2	29.4	11,329	55.8	29.6	0.92
中国	5,347	57.6	16.0	7,232	65.3	18.2	6,956	55.8	18.2	1.09
その他	7,143	36.0	21.4	8,851	54.3	22.2	7,830	52.7	20.4	0.74

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位: 億円)

国名	2010/1		2010/2		2010/3		2010/4	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,509	27.1	1,909	45.6	2,258	65.0	2,129	53.0
台湾	1,585	61.0	1,792	76.0	2,239	59.9	2,195	77.2
香港	1,526	83.8	1,404	28.8	1,959	63.4	1,859	31.0
タイ	1,280	67.0	1,347	75.3	1,443	64.2	1,500	74.1
シンガポール	1,138	65.7	1,014	59.5	1,282	70.6	1,123	26.4
インドネシア	537	74.4	691	120.0	848	148.5	784	140.4
マレーシア	623	15.2	704	81.3	812	15.5	842	53.8
フィリピン	447	75.6	467	63.4	514	78.6	565	69.1
ベトナム	249	59.5	246	24.1	311	43.3	294	38.5
<b>その他地域</b>								
中南米	2,712	19.5	2,649	31.2	3,232	37.8	2,564	48.7
中近東	1,291	▲ 10.9	1,474	21.6	2,005	69.8	1,372	28.7
大洋州	1,049	58.8	1,165	62.6	1,118	58.1	1,530	82.2
ロシア東欧等	641	▲ 5.5	754	51.1	983	82.1	935	61.2
アフリカ	760	13.1	695	19.3	978	68.9	880	37.8
インド	365	62.7	339	39.1	402	34.9	400	22.3

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向～全 20 業種中 16 業種が二桁の回復、特に自動車が 80%増と全体を牽引～

・業種別では、全 20 業種中 18 業種が前年比プラス、うち 16 業種が二桁以上の成長となり、全体的に順調に回復している。

特に、全体の約 1/3 を占める自動車が 79.7%増と極めて高い伸びとなり機械輸出を牽引した。その他、繊維機械が 2.5 倍となり、建設機械(87%増)、ベアリング(84.6%増)、工作機械(69.9%増)、産業車両(69.8%増)、陸用内燃機(61%増)、光学機械(60.9%増)が 50%以上の伸びとなった。

一方、通信機器(27.3%減)、事務機械(8.5%減)はマイナスとなった。

・なお、世界金融危機以前の平成 20 年 4 月の輸出額と比較すると、船舶、医療機械、光学機械、ベアリングはそれを上回っており、また、産業機械、電子デバイスも 90%を超えるところまで回復した。

図表7 上位20業種の輸出額の動き

(単位: 億円, %)

機種名	2010/2			シエア	2010/3			シエア	2010/4			対08/4比
	金額	伸び率	シエア		機種名	金額	伸び率		シエア	機種名	金額	
自動車	11,142	99.4	33.4	自動車	12,272	93.5	30.8	自動車	12,092	79.7	31.6	0.73
産業機械	5,633	23.4	16.9	産業機械	6,910	41.2	17.4	産業機械	6,816	48.8	17.8	0.92
電子デバイス	3,062	70.0	9.2	電子デバイス	3,586	56.3	9.0	電子デバイス	3,634	35.6	9.5	0.95
民生用電子機械	1,632	24.9	4.9	船舶	2,892	18.6	7.3	船舶	2,267	19.1	5.9	1.27
軽電気機械	1,847	59.0	5.5	軽電気機械	2,152	62.8	5.4	民生用電子機械	2,177	11.9	5.7	0.67
重電気機械	1,534	37.6	4.6	民生用電子機械	2,072	26.4	5.2	軽電気機械	2,110	44.9	5.5	0.84
船舶	2,125	3.3	6.4	重電気機械	1,973	48.3	5.0	重電気機械	1,793	30.1	4.7	0.88
軽機械	1,066	47.8	3.2	光学機械	1,214	87.1	3.0	光学機械	1,279	60.9	3.3	1.05
建設機械	825	58.6	2.5	軽機械	1,190	41.9	3.0	軽機械	1,233	44.0	3.2	0.71
光学機械	999	89.1	3.0	建設機械	1,127	64.0	2.8	建設機械	980	87.0	2.6	0.66
電子計算機	526	1.2	1.6	電子計算機	671	25.6	1.7	電子計算機	614	4.7	1.6	0.63
通信機械	488	1.0	1.5	工作機械	625	36.5	1.6	通信機械	559	▲ 27.3	1.5	0.65
工作機械	400	4.5	1.2	通信機械	558	▲ 5.9	1.4	工作機械	479	69.9	1.3	0.62
陸用内燃機関	285	41.2	0.9	医療機械	369	6.0	0.9	ベアリング	358	84.6	0.9	1.01
ベアリング	309	67.7	0.9	陸用内燃機関	360	46.8	0.9	陸用内燃機関	341	61.0	0.9	0.78
繊維機械	145	82.9	0.4	ベアリング	357	81.2	0.9	医療機械	277	5.4	0.7	1.13
医療機械	310	17.4	0.9	繊維機械	201	141.7	0.5	農業機械	176	28.1	0.5	0.73
農業機械	168	▲ 4.3	0.5	農業機械	201	17.8	0.5	繊維機械	175	147.4	0.5	0.69
産業車両	96	24.4	0.3	産業車両	129	62.3	0.3	産業車両	110	69.8	0.3	0.47
事務機械	64	8.7	0.2	事務機械	86	10.9	0.2	事務機械	78	▲ 8.5	0.2	0.75
20業種合計	32,656		97.9	20業種合計	38,945		97.8	20業種合計	37,548		98.0	0.82

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品。電子計算機: ハソコ、HDD・プリンター等部品。  
軽電気機械: 白物家電、電子計測器。軽機械: 分析器。光学機械: 光学材料、カメラ。事務機: 複写機(単機能)、会計機

**(5) 機種別動向～半導体等製造装置、繊維機械、産業用ロボット、乗用車、建機等が2倍増～**

・伸び率上位機種は、①韓国・台湾、中国、北米、ASEAN 向け半導体等製造装置(2.9倍)、②韓国・台湾、中国、北米向け電子応用装置(2.7倍)、③中国、ASEAN、その他地域向け繊維機械(2.5倍)、④全世界向け産業用ロボット(2.4倍)、⑤その他地域、ASEAN 向け貨物自動車(2.1倍)、⑥北米、その他地域、EU、中国向け乗用車(2倍)、⑦韓国・台湾、中国、北米、ASEAN 向け電子計測器(92.8%増)、⑧中国、その他地域、ASEAN 向け建設機械(87%増)、⑨中国他世界向けベアリング(84.6%増)、⑩中国他世界向け工作機械(69.9%増)などである。

一方、最も落込み幅が大きいのが、携帯電話(91.2%減)、エアコン(74.1%減)、発電機(29.7%減)、据置型VTR(13.3%減)、事務機(8.5%減)であった。

**図表8. 伸び率上位機種(月50億円、前年比増、10機種以内)** (単位:億円)

2010/2			2010/3			2010/4		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
電気・電子計測器	330	122.3	電気・電子計測器	435	147.3	半導体等製造装置	1,545	191.3
乗用車	6,417	117.3	繊維機械	201	141.7	電子応用装置	28	171.3
自動車部品	3,528	111.6	乗用車	7,156	119.6	産業用ロボット	63	136.1
半導体等製造装置	1,153	95.3	半導体等製造装置	1,400	101.9	繊維機械	175	147.4
光学機械	999	89.1	光学機械	1,214	87.1	貨物自動車	686	112.9
繊維機械	145	82.9	ベアリング	357	81.2	乗用車	6,699	102.4
バルブ・コック	296	70.1	自動車部品	3,771	79.0	電気・電子計測器	380	92.8
電子デバイス	3,062	70.0	貨物自動車	766	75.8	建設機械	980	87.0
産業用ロボット	65	68.5	建設機械	1,127	64.0	ベアリング	358	84.6
ベアリング	309	67.7	白物家電	329	63.1	工作機械	479	69.9
機種合計	16,304	52.4%	機種合計	16,756	42.1%	機種合計	11,393	29.7%

は、2ヶ月連続で上位機種 ・機種合計の%は輸出額に占める割合

**図表9. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内)** (単位:億円)

2010/2			2010/3			2010/4		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
エアコン	11	▲ 83.4	携帯電話	4	▲ 91.2	携帯電話	3	▲ 91.2
運搬機械	154	▲ 41.7	エアコン	13	▲ 80.9	エアコン	14	▲ 74.1
携帯電話	6	▲ 31.1	運搬機械	274	▲ 15.6	発電機	120	▲ 29.7
発電機	125	▲ 22.9	発電機	143	▲ 14.7	据置型VTR	10	▲ 13.3
据置型VTR	9	▲ 15.5				事務機	78	▲ 8.5
原動力機械	388	▲ 13.4						
機種合計	693	2.1%	機種合計	430	1.1%	機種合計	222	0.6%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位 \*機種合計の%は機械輸出額に対する割合

**(6) 機械輸入動向～電子デバイス、自動車部品、乗用車、TV、携帯電話の輸入急増続く～**

・4月の機械輸入額は23.6%増と高水準を維持した。その原因は、①前年の4月の落込みが32.8%減と大きかったこと、②二大輸入機種の一つの電子デバイスは38.8%増と高水準であったこと、③自動車部品、TVが2倍増、乗用車、民生用電子部品、携帯電話も50%以上の増加であったことによる。

なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、医療機器、TV、白物家電、携帯電話、事務機械、時計、ラジオとなっている。

・地域別機械輸入額は、全体の40%と最大の輸入先の中国(28.4%増)、ASEAN(31.1%増)、北米(10.2%増)、韓国・台湾(22.7%増)、EU(20.1%増)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種

(単位: 億円、%)

2010/2				2010/3				2010/4			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,553	35.6	13.7	電子計算機	1,865	15.9	13.8	電子計算機	1,735	13.5	13.7
電子デバイス	1,422	42.2	12.6	電子デバイス	1,776	47.9	13.1	電子デバイス	1,695	38.8	13.4
自動車部品	526	87.9	4.7	自動車部品	608	72.1	4.5	重電気機械	622	26.0	4.9
重電気機械	507	31.4	4.5	重電気機械	613	25.5	4.5	自動車部品	579	103.1	4.6
医療機器	452	25.3	4.0	医療機器	595	37.9	4.4	白物家電	471	▲ 3.2	3.7
白物家電	366	15.9	3.2	白物家電	399	▲ 3.3	2.9	乗用車	405	74.7	3.2
TV	352	175.8	3.1	TV	421	95.7	3.1	医療機器	387	3.3	3.1
民生電子部品	327	79.9	2.9	民生電子部品	364	44.4	2.7	TV	373	126.0	3.0
光学機械	306	45.1	2.7	光学機械	385	37.8	2.8	民生電子部品	351	48.3	2.8
携帯電話	256	47.4	2.3	携帯電話	263	35.1	1.9	航空機	304	▲ 4.6	2.4
乗用車	237	103.0	2.1	乗用車	468	13.7	3.5	光学機械	291	17.0	2.3
航空機	169	▲ 64.3	1.5	航空機	197	▲ 61.7	1.5	携帯電話	286	53.4	2.3
12機種合計	6,473		57.3	12機種合計	7,954		58.8	12機種合計	7,499		59.4

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電: 民生用電気機械